

平成 25 年 10 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 幸 楽 苑
 代表者の役職名 代表取締役社長 新 井 田 傳
 (東証第一部 コード番号 7 5 5 4)
 問 い 合 わ せ 先 専 務 取 締 役
 管 理 本 部 長 武 田 典 久
 T E L 0 2 4 - 9 4 3 - 3 3 5 1
<http://www.kourakuen.co.jp/>

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 25 年 5 月 10 日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 26 年 3 月期第 2 四半期(累計)連結業績予想数値の修正 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 25 年 9 月 30 日)

	(単位：百万円)			(単位：円)	
	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	18,791	413	414	140	8.78
今回発表予想 (B)	18,158	195	192	△27	△1.70
増 減 額 (B-A)	△633	△217	△222	△167	—
増 減 率	△3.4%	△52.7%	△53.7%	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績	18,202	328	356	87	5.43

2. 平成 26 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日)

	(単位：百万円)			(単位：円)	
	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想 (A)	37,965	1,116	1,121	303	18.93
今回発表予想 (B)	36,775	857	845	89	5.59
増 減 額 (B-A)	△1,189	△259	△275	△213	—
増 減 率	△3.1%	△23.2%	△24.6%	△70.4%	—
(ご参考)前期実績 (平成 25 年 3 月期)	36,067	621	709	64	4.01

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。

3. 平成26年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

	(単位:百万円)			(単位:円)
	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	18,682	438	186	11.64
今回発表予想 (B)	18,072	220	44	2.80
増減額 (B-A)	△609	△217	△141	—
増減率	△3.3%	△49.7%	△75.9%	—
(ご参考) 前期第2四半期実績	18,168	344	94	5.82

4. 平成26年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

	(単位:百万円)			(単位:円)
	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	37,703	1,112	336	21.04
今回発表予想 (B)	36,587	865	170	10.63
増減額 (B-A)	△1,115	△247	△166	—
増減率	△3.0%	△22.2%	△49.5%	—
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	35,974	682	69	4.33

5. 修正の理由

【第2四半期(累計)】

売上高につきましては、新規出店国内計画25店舗に対して実績14店舗となりましたが、直営既存店売上高は前期比計画5.4%の減少に対して、実績6.1%の減少とほぼ計画通りとなりました。また、客数の増加対策として、無料・割引クーポン券の配布や「大盛り無料」キャンペーンを定期的に開催したことにより、売上高は計画対比で連結3.4%、個別3.0%の減少となりました。

利益面につきましては、内製化による原価低減や店舗のエネルギーコスト削減等のコストコントロールに努めてまいりましたが、売上高の減少を吸収できず、営業利益、経常利益ともに計画を下回りました。

この結果、前回発表の第2四半期(累計)業績予想に対して、連結・個別とも上記の通り修正いたします。

【通 期】

当社グループが属する外食産業におきましては、引き続き厳しい経営環境が続くことが見込まれ、売上高の下振れリスクが潜在するものと想定されます。

第3四半期以降の見直しにつきましては、「商品価値の見直し」の一環として「30%増量！」の新ギョーザの導入等による既存店客数や客単価の改善を図るとともに、内製化による原価低減を積極的に推し進めてまいります。

通期の業績見直しにつきましては、第2四半期(累計)の結果から、前回発表の通期業績予想に対して、連結・個別とも上記の通り修正いたします。

以 上

(注) 業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。